令和6年度　大田区立馬込小学校　自己評価　報告書

○ 本校の概要　　令和6年＊月＊日

○　学級数　23学級　　○　児童数722名（令和6年6月10日現在）
○　教員数32名　一校長1、副校長1、主幹教諭1、主任教諭1、主任養護教諭1、教諭19（休業含む）　○　行政系職員2名（事務、栄養士）　○　その他、会計年度任用職員・委託・派遣職員
○　校内研究　研究主題「みんなで話して意思決定！～主体的で対話的に学ぶ児童の育成をめざして！」～生活科・総合的な学習を通して～　令和6年度「おおたの魅来づくり」研究実践校
○　特色ある教育活動　…　馬込の特色を生かした地域学習の充実「クラフン倶楽」「大政更から組工」「馬込半日修学旅行実施の就地」「馬込はかせになろう」、タブレットを活用した「馬込家庭学習DX」
○　体験活動、人との関わりを大切にする活動の重視　　○　学校支援地域本部「スクールサポートまごの」と連携した教育活動
○　教員の交換授業（第5、6学年における一部教科担任制）、中・高学年での副担任制の導入

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組今後の改善策	学校関係者記入欄 評価	人数	コメント
生予測し困難な1育成を社会を創造的に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		C(児童):大田区調査「コンピュータやインターネットなどを活用して情報を収集し、自分の考えを まとめたりする事ができる」で肯定的回答をした6年児童の割合 P(保護者):学校評価保護者アンケート「学校は主体的で協働的な学びの充実を図り、児童の課題解決能力や情報活用能力をはぐくむ教育に取り組んでいる」で肯定的な回答をした保護者の割合	4:全て80%以上 3:全て70%以上 2:全て60%以上 1:いずれかでも60%未満		A		
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断するなか、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					B		
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					C		
								D		
お世界たとつ担う人材を育成します	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重するなかで、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に開心をもち、持続可能な社会を形成しようとする態度を育成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		C(児童):学校評価児童アンケート「外国語を積極的に学び、将来自分の生活や仕事などに生かせるように したい」で肯定的回答をした6年生児童の割合 P(保護者):「外国語教育、我が国や外国の多様の文化に触れる機会等の充実を図り、児童のコミュニケーション能力や国際感覚をはぐくむ教育に取り組んでいる」に肯定的な回答をした保護者の割合。	4:全て80%以上 3:全て70%以上 2:全て60%以上 1:いずれかでも60%未満		A		
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					B		
		③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					C		
								D		
ため個人のひ基と模倣り3がとなる個性力とを総育力を成しし発揮する	児童・生徒が豊かな人生を生きていくとで基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通して継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		C(児童):学校評価児童アンケート「授業で学習したことがよくわかる」「自分や友達のことを大切にしている」「運動が好きですすんで体を動かしている」で肯定的な回答をした児童の割合 P(保護者):学校評価保護者アンケート「お子さんは基礎的な学力を身に付けてきている」「学校は児童の基本的な生活習慣や規範意識を育てる心の教育の推進に努めている」「学校は児童の体力向上や健康教育の推進に努めている」で肯定的な回答をした保護者の割合	4:全て80%以上 3:全て70%以上 2:全て60%以上 1:いずれかでも60%未満		A		
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべてのこどもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					B		
		③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					C		
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼との連携や小一一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					D		
学個校別目・模倣4師力を向上させます	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		C(児童):学校評価児童アンケート「学校生活は楽しい」で肯定的な回答をした児童の割合 P(保護者):学校評価保護者アンケート「お子さんは、楽しく学校生活をすごしている」「教員は、教え方（授業の内容や方法等）を工夫している」に肯定的回答をした保護者の割合	4:全て80%以上 3:全て70%以上 2:全て60%以上 1:いずれかでも60%未満		A		
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					B		
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					C		
								D		
ため自分学し標びくを支援しまます生きる	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の児童・教力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		C(児童):学校評価児童アンケート「先生は、わからないことや困ったことがあるときに、助けてくれたり相談にのってくれたりする」で肯定的な回答をした児童の割合 P(保護者):学校評価保護者アンケート「学校は児童や保護者の悩りやニーズ等に対し、適切な対応・支援に努めている」に肯定的な回答をした保護者の割合	4:全て80%以上 3:全て70%以上 2:全て60%以上 1:いずれかでも60%未満		A		
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。					B		
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					C		
								D		
安全個心教別なで目教創標育造6環的境を学つ習く空間まします安全・	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		C(児童):学校評価児童アンケート「きまりを守って、安全に行動している」で肯定的な回答をした児童の割合 P(保護者):学校評価保護者アンケート「学校は児童が安全・安心に生活するための環境づくりや、避難訓練を含む安全教育の工夫・充実に努めている」で肯定的な関津をした保護者の割合。	4:全て80%以上 3:全て70%以上 2:全て60%以上 1:いずれかでも60%未満		A		
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					B		
								C		
								D		
学地学園校域校別をコ・目つ3家標くュ庭7リニ・ま子地すイ域のの様連携し・協の働による	地域コミュニティの核としての学校づくりを地域の特色を生かした学校づくりを通じるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体でこどもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		C(児童):学校評価児童アンケート「学校や地域のことが好き」で肯定的な回答をした児童の割合 P(保護者):「学校は地域と連携した活動を推進するとともに、おたよりやホームページ等を通じて教育活動についての情報発信に努めている」	4:全て80%以上 3:全て70%以上 2:全て60%以上 1:いずれかでも60%未満		A		
		②豊下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					B		
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					C		
								D		

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A：自己評価は適切である　B：自己評価はおおむね適切である　C：自己評価は適切ではない　D：評価は不可能である　の4点について、評価した人数を記載する。